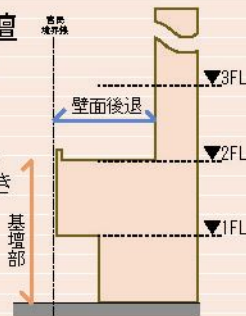


全てに共通する基準

- 建物が中層以上の場合、基壇部分(1～2階)より上は、壁面を後ろに下げましょう。

壁面後退することにより空が広がるとともに、夜間は月あかりを愉しむことができます。

中高層建築は3階以上の壁面を後退させることで、道路景観に広がりを与えます。



- テントやパラソルなど、日陰ができるようにしましょう。

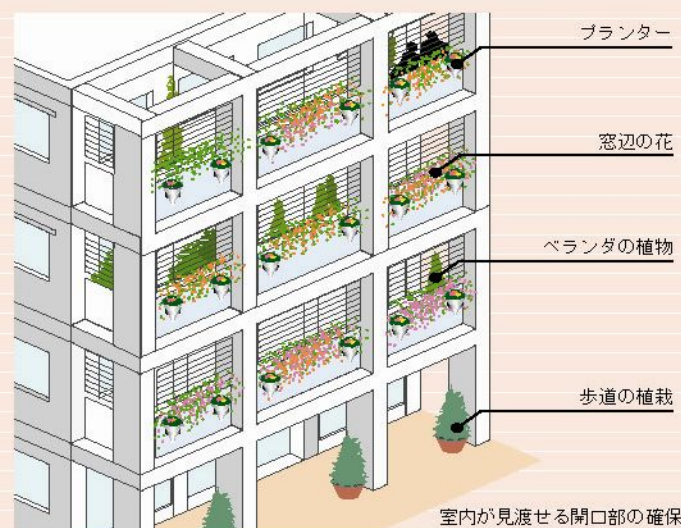
日差しが強い日や雨の日でも快適に過ごせる設えが快適さをつくります。また、色彩やデザインを近隣と合わせることでまとまりある街並みになります。



木陰のある休憩のしつらえの数々

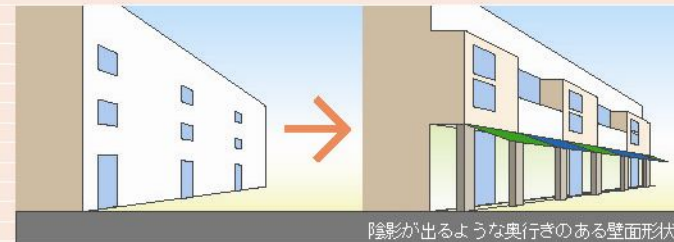
- 道に面した窓辺などは、プランターや花壇などできる限り飾りましょう。

窓辺や店先のプランターは一年中花を楽しむことができます。また、小さなみどりの連続は景観に彩りと変化を与えます。



- 建築壁面はできるだけ凹凸をつけて影ができるよう工夫しましょう。

陰影のあるまちなみは景観に奥行きを与え、豊かな表情をつくり出します。



- 光源は暖かみのある色を用いましょう。

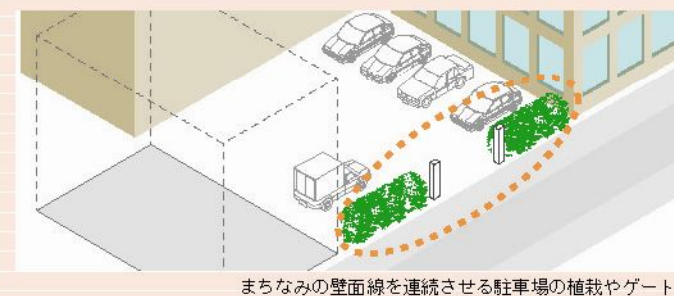
暖かみのある光源は心理・生理的に落ち着いた印象を与えます。



- 駐車場や空地は、門扉や植栽などを使って、街並みが連続するよう工夫をしましょう。

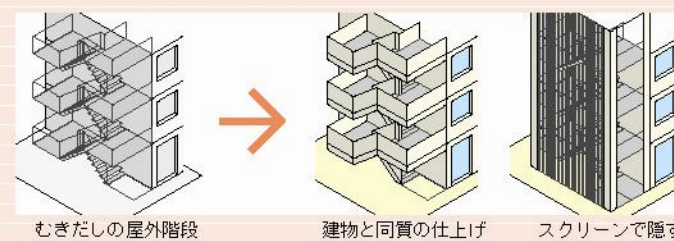
- 駐車場はできる限り緑化を行いましょう。

コンクリートやアスファルトだけの駐車場は無味乾燥した印象を与えます。緑化することで通りの魅力をつくり出します。



- 屋外階段・壁面設備・屋上設備などは、建物と一体的になるよう配慮しましょう。

できる限り建築物と一体的にすることにより、まちなみの連続性を確保することができます。



- 看板照明はできる限り外照式としましょう。

外照式にすることにより、ショーウィンドーや門灯の明かりとも調和し、魅力ある夜間景観を創出します。



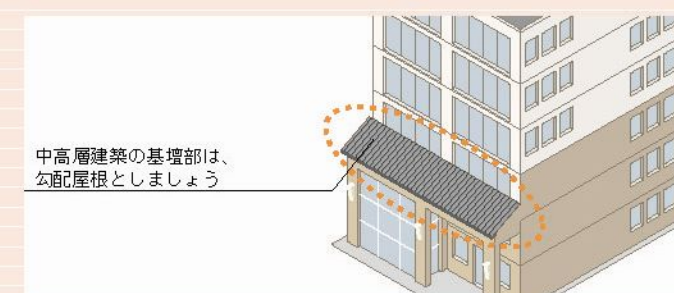
- 広告・看板は、できる限り手作り風で柔らかいデザインとしましょう。

看板一つ一つを魅力的なデザインにしましょう。特に鋳物や木製の看板など手作り看板は、道行く人の目を楽しませます。



- 中層以下及び基壇部分の屋根は原則として勾配屋根としましょう。

勾配屋根に統一することにより、全体としてまとまりの感じられる通り景観をつくります。

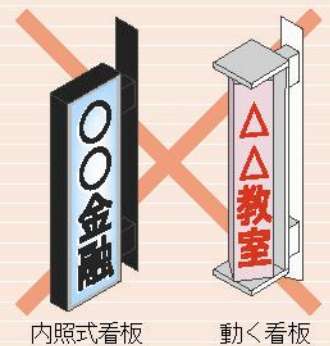


- 壁面や勾配屋根の素材は、できる限り自然系素材を用いましょう。また周辺建築と調和した落ち着いた色調としましょう。

自然系の素材には質感や肌理があり、柔らかい印象を与えることができます。

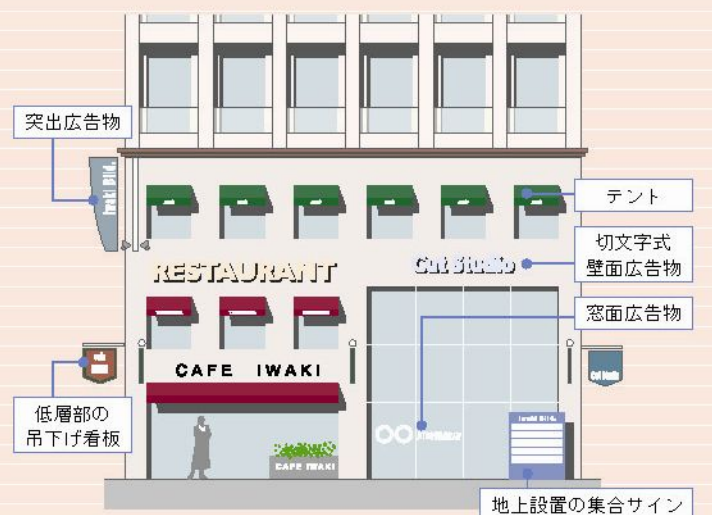
- 動くものを看板にしてはいけません。

看板自体が動くものや文字情報が変わる看板は突出して目立ち、まちなみのやわらかな連続性を分断しかねません。



- 壁面広告は建築物とできる限り調和したものとしましょう。

突出広告物や壁面広告物はできるだけ整理し、大きさやデザインをそろえた吊り下げ看板や地集合サインなどに集約化することが望まれます。



- 屋根の素材は瓦など、自然系の素材や自然系素材に調和した色彩としましょう。

自然系素材や自然系素材と調和した色彩は、落ち着いた印象を与えることができます。

